

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現在は利用者様全員に、避難誘導を含めた防災訓練に参加していただいているが、実際の災害の場面でより安全かつ適切に避難できるよう、手順について話し合いが必要である。	利用者一人一人の状況に応じ、誘導手順や優先順位について話し合い、実際に災害が起きた際に適切に対応出来るよう取り組みたい。	避難誘導の順番、避難方法の再確認。火元から近いユニットの避難経路の確保と確認。安全な避難誘導の為の留意点についての意見交換。	3ヶ月
2	45	入浴の場面では、利用者の希望する入浴剤を使用したり、入浴時間や回数についても、希望に沿った対応をしているが、利用者の重度化により、入浴が困難な状態になった場合でも、出来る限り入浴の機会が確保できるような対応策が必要である。	リフトや機械浴の導入の検討を行うとともに、多人数での介助等、入浴介助方法の工夫により、重度な利用者も安全に入浴できる方法を確立したい。	リフトや企画欲の導入について、検討する。ケア会議で、利用者の重度化に対する入浴介助方法の工夫について話し合い、個々にあった安全な介助方法を再度検討する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。